

6年「IPS細胞の向こうに」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…主題発問と関連して、道徳的価値の言葉を入れた問いや話をします
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- 広げる・深める**…展開前段の学びを想像的に広げたり、展開前段の学びを吟味して深めたりして、主題発問への答えを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぐ一言**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れたり、道徳的価値を入れる振り返りの観点を説明したりして、自分との関わりで振り返りを行うことができるようにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	壁はピンチかチャンスか	より高みをめざす	諦めようとする心より 強い思い
導 入	「壁に当たる」という言葉を聞いたことはありますか。人にとって、壁とは何でしょう	目標を達成したら、その後、どうしますか	何かを続けていくとき、誰でも諦めてしまおうとする心が出てきます。それでも、続けるには、どんな心が大切でしょう
展 開 前 段	○山中さんが当たった壁は、どんなことだったでしょう ○山中さんは、壁を一つ一つ、どのように乗り越えていったのでしょうか	○山中さんは、IPS細胞づくりに成功し、ノーベル賞ももらいましたが、まだ、研究を続けているのは、どうしてでしょう ○「成功＝完成ではない」というのは、どういう意味でしょう ○例えば、オリンピックで金メ	○山中さんは、どんな理由で研究を諦めようとしたのでしょうか ○「これまで自分は何のために研究を進めてきたのか」という、自分への問いかけに、どのように答えたのでしょうか ○今、何か続けていることを諦めてしまうと、どんなことを
広 げ る ・ 深	○壁に当たって、そこで立ち止まってしまったり、限界を感じてしまったりしたら、どんな気持ちになるでしょう		

める	○壁とは何でしょう。壁はどこにあるのでしょうか	ダルを取った後、その目標の先には、どんなことがあるのでしょうか	失ってしまうのでしょうか ○続けていることを諦めない 「おまじないの一言」は何でしょう
展開後段	私たちは、その壁に当たったとき、どのように考えるのがよいのでしょうか	人が、成功の先を見据えて、さらに進んでいくことは、どんなところがよいのでしょうか	人が、仕事ややりたいことを続けていくとき、大切な思いや考えはどんなことでしょうか
つなぐ一言	何かをやり遂げたと思ったとき、それをゴールとするのか、通過点とするのか、どう捉えるかでその先が変わりますね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、どんな自分になるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう		
振り返り			